

報告日
令和7年9月2日

報告回次
2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	庄原市			代表者名	八谷 恭介
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画振興部企画課	連絡先電話番号	0824-73-1148
担当者役職	専門員	担当者氏名	小川正夫	連絡先E-mail	
住所	727-0085 広島県庄原市中本町1-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進加速事業		
概要	前年度のDX推進研修によりデジタル変革の重要性についての職員・管理職の理解は進んだため、組織の抱える課題についてどのように変革を行うか、他の自治体でのデジタルツール活用の具体的な事例等を参考にしながら自ら考え、計画・実践できるようにするもの。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	631	令和7年8月20日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月1日	支援・助言&講演(実地)	9時15分	15時30分	60
				活動時間（分）	315

2-2.

派遣場所	会場名	庄原市役所	最寄駅	備後庄原
	所在地	広島県庄原市中本町1-10-1	最寄駅からの交通手段	備後庄原駅から徒歩（または高速バスにて広島駅～庄原市役所前バス停）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史	
評価	大変良い	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザーから、今年度の組織改革における具体的な目標設定や、DXツールの活用に関して「個人の自主的な学び」と「組織として取り組むべきこと」を分けて取り組んではどうかなど、現場に近い視点と俯瞰的な視点を組み合わせた有益な助言を得た。市のトップ層の参加を促し、担当者に丸投げしない形での取り組みが重要であるという具体的な提案も受けた。	
アドバイザーへの要望事項	職員の意識醸成や組織全体でのDX推進を進めるための具体的な進行プランに関する多角的な視点からの助言を引き続きお願いしたい。	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	56人	
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	56	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	人口減少・少子高齢化が進む中山間地域に位置し、税収減少や労働不足等の状況が間近に迫っているため、課題解決のためにデジタルを活用した業務変革が必要だが、職員の意識改革やDXツール活用がまだ一部に留まっている。今年度は、DXに比較的慎重だった庁内体制が転換することとなったが、どのようにDXを推進していくかの共通認識を形成していく必要がある状況。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	職員・管理職・トップ層がDX推進の重要性を理解して共通認識として形成し、自ら課題を発見し解決に向けて行動できる組織文化が醸成されることを目指す。また、他の自治体の具体的な事例等も参考にしながら、自らの抱える課題についてデジタルを活用した業務改革として実施していく全庁的なDX推進の機運を醸成し、第2期のDX推進計画の構築やアクションプラン検討等を行う。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的に記入下さい）	前回はデジタルツールの活用にとどまらずDX関連の組織改革の方向性を示していくべきとの助言を受けたため、今回は管理職向けと一般職員向けに組織全体で課題解決に取り組むためのDX推進のワークショップ研修として実施した。この研修では市の第2期のDX推進計画策定の方向性やその推進体制のあり方など事務局から説明するとともに、アドバイザーからDX推進のあるべき姿や他団体の事例を紹介してもらい、その後のDX人材育成や情報（ナレッジ）共有に関するグループワークのファシリテーター役を担当いただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	市の第2期のDX推進計画策定に向けて、現状のDXの課題やその推進体制のあり方などを参加者と共有できた。さらにワークショップを通じて、情報（ナレッジ）の共有の重要性、DX人材育成の重要性についても参加者と共有できた。これより第2期のDX推進計画策定の方向性に対する一定のコンセンサスがとれたため、今後は市内全体にDX推進計画策定の方向性を展開するとともに、計画の策定の軸となるDX人材育成や課題となっている情報の共有について検討していく予定。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	現在のところ具体的な成果物はまだ存在しないが、今回のDX研修により第2期のDX推進計画策定の方向性が示せたため、計画の策定に向けた検討をさらに具体化していく予定。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	DX人材育成や情報(ナレッジ)の共有が市のDX推進にとって非常に重要であることについて参加者と共有できたが、DX人材育成は人事制度にも関係するためその担当部門と協力して中長期的な対応が必要となってくる。また、情報の共有について具体的な改善も必要であり、まずは小さな成功を目指して組織横断のタスクフォースによる対応等について検討していく予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	研修について「とても有意義だった」「有意義だった」が一般職員で約7割以上、管理職で約8割以上など、アンケート結果も非常に好評であった。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	10月に第2回のDX推進研修を計画しており、今回と同様にワークショップ研修として実施を検討している。DX人材育成や情報(ナレッジ)の共有などの課題への対応について今後も組織横断で検討していく予定。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	職員や管理職が自課の課題についてデジタルを活用した改革を主体的に考え、行動できるようになる組織文化を醸成し、組織として柔軟性を持ちながらDX推進を通じて持続可能な地域社会を実現することを目指す。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/
掲載許可	○掲載可	

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

DX推進研修（ワークショップ）

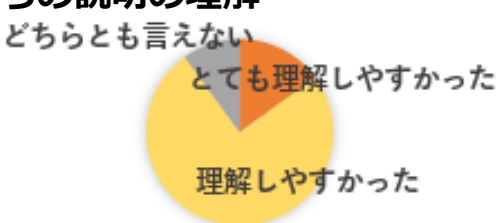
【管理職向け】



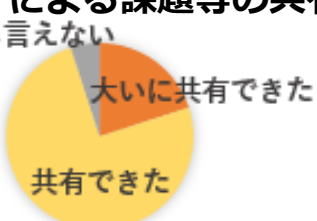
1.研修全体の有意性



2.講師からの説明の理解



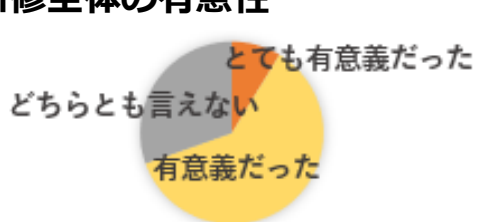
3.ワークショップによる課題等の共有



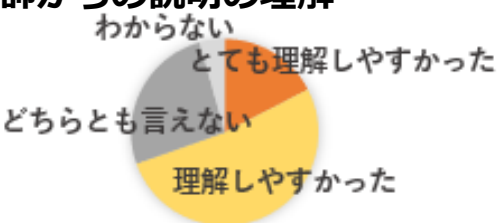
【一般職員向け】



1.研修全体の有意性



2.講師からの説明の理解



3.ワークショップによる課題等の共有

